

# 松 葉 広 報

第169号

(2024〔令和6〕年度 第3号)

発行 自治会法人松葉町自治会  
編集 松葉町自治会広報部  
題字 石井志治氏  
印刷所 プリンティング山口

会員世帯数 716  
賛助会員数 21

(2月1日現在)



令和6年度(令和7年1月まで)を振り返って

会長 馬場 吉博



松葉町自治会の諸行事は、感染症対策に配慮し、猛暑への備えにも注意を払いながらも無事に開催することができました。これもひとえに、会員皆様方のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

今年度の主要事業の取り組み結果について、私の視点から報告いたします。

今年度の最重要取り組みは「自治会組織等実行委員会(以下、委員会)」を立ち上げ、検討を開始することでした。

【委員会の立ち上げ】は、4月の定例役員会で承認され、委員については、公募の応募者2名と本部が推薦した13名を加え合計15名での発足となり、6月30日の第1回以降これまで3回の会議が開催されました。

【検討委員会からの提案の実現】には、「人材・費用・場所」が必要となることから先ず、5番目の項目「自治会内の人材の掘り起こし」の実現のため、会員カードの記載内容・保管管理方法等の見直しについて、個人情報保護法への対応を含めた協議が進んでおります。

【本部として会員名簿の整備】は、委員会からの提案をもとに来年度以降の課題となりました。

【各組との情報交換】については、定例役員会終了後に四地区に分かれ、組長と専門部長も参加しての意見交換が実施されており、今後も継続して取り組

んでいくことになると思います。

今年度の組問題への取り組みは十分とは言えないと痛感しており、来年度への課題となりました。

【未加入世帯の加入促進】は、今年度(4月1日〜1月1日現在)の新規加入8世帯、退会15世帯となっており、来年度以降も継続して加入促進活動を進めるとともに、上記委員会の検討を踏まえ、地道な自治会活動を遂行することが大切かと思えます。

今年度は、自然災害発生や凶悪犯罪の報道が相次ぎ、松葉町内でも年間(1月〜12月)22件の刑法犯罪が発生しており、防犯防災の注意喚起情報の発信に努めました。

お隣とのささやかな関係や緩いながらのつながりが、いざという時の助け合いに繋がる事を認識して、先ず隣近所と挨拶を交わしてほしいと思います。そして、挨拶は犯罪の抑止力ともなりますので、現在自治会が取り組んでいる「あいさつ運動」は大変大切な取り組みであり、今後も継続が必要と思われます。

今年度の主要取り組み状況は以上の通りです。

今後も自治会活動に対しご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



陽光台地区住民の集いのようす

令和6年度定期総会は3月23日(日)10:00～陽光台小学校体育館で行います。

# 令和6年度 どんど焼き

体育部長 金 慶一

新年あけましておめでとございます。恒例のどんど焼きを去る一月十二日の日曜日に行いました。朝方少々曇り空でしたが日中は穏やかに晴れ渡り、会員の皆様には和やかなひと時を楽しんでいただけたと思います。新型コロナウイルスの五類移行を経て、人とのふれ合いが以前のように戻り、会員相互の挨拶や語らいがあらこちらで見受けられ、笑顔で新年を迎えられることを心より嬉しく思います。

昨年同様、おしるこや豚汁、振る舞い酒、ビンゴゲームなどを来場者に提供いたしました。いかがだったでしょうか。ご家族連れや地域の高齢者施設に入居されている方々を含め、多くの方々が訪れて、用意した椅子や花壇の縁石に腰かけ、それらを類張りながらゆったりと過ごされていたようです。

自治会では「繋がる」ことを重点に置いて活動しています。高齢化や若年層の自治会離れが話題になることがしばしばの昨今ですが、お祭りやどんど焼きなどの行事を通じて、より多くの会員どうしが顔見知りになり「繋がる」ことが地域の安心安全にもつながるのだと思います。

最後に、令和七年が皆様にとってより良い一年となるようお祈り申し上げます。

# 秋の町内清掃と 「ごみと資源の勉強会」

環境整備部長 高橋 啓太

令和6年11月10日に松葉町内の清掃活動を実施しました。午前9時から自宅周辺の除草と清掃、あわせて自治会館とひまわり公園は、各組代表と分担して清掃美化にご協力をお願いいたしました。

ひまわり公園では草木を短く剪定したため、地面に落ちた枝葉を拾うのに一苦労でしたが、お互いに声を掛け合いながら清掃している姿に、絆づくりの一端を垣間見ることができました。

町内清掃の後、「ごみと資源の勉強会」を自治会館2階で開催しました。麻溝台環境事業所の講師をお招きし、ごみ分別サンプルやパネルを使いながら、分かりやすい説明がありました。質問では、具体的に一般ごみなのか？ 容器包装プラなのか？ 出し方に迷う不要物へのアドバイスもあって、有意義な意見交換ができました。

ごみを焼却した灰を埋める相模原市の最終処分場は、今のままで13年後に満杯になる見込みです。ごみは家庭から毎日出ますが、1人1日

100g減らせると最終処分場が4〜6年も長く使えるようです。

いまの最終処分場を出来る限り長く使うためには、一人一人のちょっとした努力が必要だと感じました。そのためには焼却炉で燃やす一般ごみの量を減らす。リサイクルできる資源はしっかりと分別することが大切になります。毎週火曜日の自治会資源回収を上手に利用しながら、ごみの分別・ごみの減量化にご協力をお願いします。



勉強会のようす

## 編集後記

広報による情報提供に加えてLINEオープンチャットとLINE WORKS(主に役員向け)を開始しました。多面的な情報共有にぜひご協力ください。(T・I)